

# 新年のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一三二  
 浄土真宗 西福寺  
 本願寺派  
 TEL072533355 FAX072533375

み光に照らされて、新年を迎えることができます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十九年最初のご案内を申し上げます。

がん たん え

## 元旦会

日時 一月一日(祝) 昼一時

講師 本願寺中央講師



### 足利孝之師

■「一年の計は元旦にあり」。阿弥陀様の御前で、新年を迎える私の心を見つめたいものです。お屠蘇進上。今年も福引を行います。お楽しみに。

■足利先生、兵庫県尼崎市、安養寺住職。教誨師として多くの死刑囚を看取られたご経験から阿弥陀様のお慈悲について分かりやすく熱くお話下さいます。

■朝十時より、修正会(しゅしようえ)。上野門徒の皆さま、各世帯代表者一名ずつのご参拝をいただきます。

もう一年たちますか。時の過ぎ去ること夢幻のようであります。

一月一日、間違いなく参上します。

正月で86歳となります。参上するたびにいつもこれが最後と云い聞かせていますが、呆けない限り参上します。

山内みな皆様にもよろしく申し上げてください。拝眉を楽しみにしております。

—安養寺・足利孝之師より—

合掌



「仏法には明日と申すことあるまじく候ふ。仏法のことはいそげいそげと仰せられ候ふなり。』蓮如上人御一代記聞書』  
 有縁の皆さま、当山「元旦会」に急ぎ、ご参拝ください。

### 西本願寺御正忌報恩講

親鸞聖人、755回忌にあたる御正忌報恩講が9日速夜(たいや)から16日の満日中(まん)にちゅう)まで7昼夜、28座にわたり本山・御影堂で営まれます。

親鸞聖人のご祥月(しよつつき)命日を縁に営まれる本願寺最大の年中行事です。期間中、全国から僧侶・門信徒が多数参拝し、聖人のご遺徳を偲ぶとともに、浄土真宗の信者として自覚を新たにします。

住職は1月9日(月・祝)午後2時からの速夜法要に参拝する予定です。ご参拝にあたり費用は特にかかりませんが、御佛飯料の進納にご協力ください。朝6時からお晨朝、10時から日中法要、昼2時から速夜法要、いずれに直接お越しになっても構いません。前々日(7日)までのご一報くだされば、記念品がいただけます。

※万一の場合は、住職携帯まで  
 (090-1071-4881)

伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日

## 年忌表 (平成二十九年)

一	周	即	平成二十八年
三	回	即	平成二十七年
七	回	即	平成二十三年
七	回	即	平成十七年
七	回	即	平成十三年
三	回	即	平成五年
三	回	即	昭和六十一年
五	回	即	昭和四十七年
五	回	即	大正七年

平成二十九年は、上の年に亡くなった方々の年忌に当たります。盛大であるに越したことはありませんが、ささやかでも、真心のこもった法要(法事)を勤めたいものです。

法要は、命日に勤めることが理想ですが、都合で、日・月・年が前後にずれる場合があっても構いません。

法要を勤めるにあたっては、まず日程を住職にご相談ください。日取りが決まったら、親戚知人にも通知を出し、前日までにお仏壇をきれいに掃除し、お供物やお花、お香などを買い整え、心をこめて準備いたしましょう。

そのほか、ご不明な点は何なりと住職までお尋ねください。(西福寺：072-622-3725)

※左の点線部分で切り取って『真宗教団連合平成29年法語カレンダー』の台紙に貼ってご活用下さい。  
 ※早い「きわい」エコ！寺報メール便のお申し込みは、こちらまで [sai.fukujii@runbini.com](mailto:sai.fukujii@runbini.com)

石川欣也先生の  
 法話のダイヤル 0743-53-4488

# 二月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九-三二  
TEL 072-533-3750 FAX 072-533-3751  
浄土真宗 本願寺派 西福寺

白梅の香りに誘われて、小鳥が群れをなしてやってきます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十九年二月のご案内を申し上げます。

## 撰津十二日講御消息披露法要

日時 二月十二日(日) 昼一時〜三時

※いつもと開始時間が異なります。ご注意ください。

講師 本願寺名誉侍真・富田本照寺住職

### 日野真正師

■平成十七年二月以来、十二年ぶりの法要です。天下統一の野望をいなく織田信長と十一年にわたって死闘を繰り広げ、浄土真宗の法灯を守り抜いた石山合戦を契機に始まったとは思えないほど、厳かで奥ゆかしい法要です。

■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

### ●帰敬式(きききょうしき)を受式しましょう。

帰敬式とは、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮を送ることを誓う、私たちにとって最も大切な儀式です。この帰敬式を受式され、仏弟子となった方に本願寺住職(ご門主さま)より法名が授与されます。帰敬式を受式し、共にお念仏を喜ぶ人生を歩みましょう。

1. 執行日 1月1日・1月16日の晨朝後、1月8日・12月20日の終日を除く毎日2回
  2. 執行時刻 午前の部：晨朝後引き続き／午後の部：午後1時30分
  3. 受式申込 午前の部は晨朝前、午後の部は執行時刻の1時間前までに参拝教化部まで
  4. 冥加金 成人：10000円／未成年：5000円
- ※詳しくは住職までお問い合わせください。

### 撰津十二日講御消息披露法要式次第

- 一、 喚鐘
- 一、 開式の辞
- 一、 挨拶 総代
- 一、 開扉
- 一、 開座の言葉 講長
- 一、 入堂、着座 御導師組長 住職
- 一、 勤行「仏説阿弥陀經」
- 一、 勤行終了後 退出
- 一、 (休憩 十分間)
- 一、 庭儀 御消息入堂
- 一、 達書伝達
- 一、 御消息拝読披露 三巻
- 一、 拝読終了後 一同合掌礼拝
- 一、 恩徳讃唱和
- 一、 庭儀 御消息退出
- 一、 挨拶 住職
- 一、 閉座の言葉 中下組理事
- 一、 挨拶 総代
- 一、 閉扉
- 一、 閉式の辞



伝燈奉告法要団体参拝平成29年4月28日

### 本願寺と撰津十二日講

本願寺は、親鸞聖人が弘長二(一二六三)年にご往生され、京都東山大谷の地に、ご遺骨を納め、廟堂を建てたことにはじまります。

第八代蓮如上人の時代、寛正六(一四六五)年に大谷本願寺は、比叡山衆徒によって破却されます。蓮如上人は、越前吉崎、河内出口などを転々とされた後、京都山科に本願寺を再建されました。しかし、山科本願寺も天文元(一五三二)年、細川晴元らによって焼き払われ、大坂石山(大阪城の辺り)に寺基を移し、寺内町を整備して発展の一途をたどりました。

その後、第十一代顕如上人の時代、元亀元(一五七〇)年に天下統一を目指す織田信長と本願寺との間に石山合戦が起こりました。この本願寺の一大事に近郷近在の浄土真宗の僧侶・門徒は大坂石山に馳せ参じ、信長の軍勢に対して鎌や竹槍を武器に一步も引かず、身命をなげうって、十一年もの間、戦い抜きました。

結局、顕如上人は天正八(一五八〇)年、信長と和議を結び、大坂石山を退去して紀伊鷺森に移られることとなりました。

この石山合戦における島上、島下両郡の門徒達に対して、天正十(一五八二)年九月十日、顕如上人より御消息が下付され、第十代証如上人のご命日の前日(十二日)に法座を開いたのが撰津十二日講の名称の由来です。

以降、毎月十二日に法座を開き、特に本願寺より御使僧をお迎えし、ご歴代の宗主から下付された御消息を親しく拝読する御消息披露法要が、実に四百三十年以上もの長きにわたり連続されています。

いしかわきんや 石川欣也先生の 法話のダイヤル0743-53-4488

# 三月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二  
TEL 072-533-3750 FAX 072-533-3751  
浄土真宗 本願寺派 西福寺

忘れたいことも、忘れられないことも、優しく包みこむ。春の陽光に照らされて、海はキラキラと輝いています。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十九年三月のご案内を申し上げます。

第二百六十二回

## 人生講座

日時 三月十二日(日) 昼二時〜四時  
講師 本願寺派布教使

### 高津 眞悟 師

■高津(たかつ)先生、五十八歳。島根県大田市水上町、浄福寺住職。農業大好き住職として寺の周り8ヘクタールの水田や畑作もの(キャベツ)に汗を流しておられます。過疎化と高齢化が深刻な地域で農繁期ともなれば心の悩みに加え、たのみの農業相談者としてご活躍です。

■撰津十二日講御消息披露法要、お蔭様で無事終了しました。皆さま、ご協力・ご参拝、有難うございました。



## 初参式

昨年1年間(平成28年1月1日〜12月31日)にお生まれになったお子様を対象に初参式を行います。

この世界に生を賜った喜びを感じ、ほとけの子として健やかな成長を願うご家族の皆さまのご参詣をお待ちしています。

と き: 4月8日(土) 午後1時より

ところ: 西福寺本堂ほか

受式冥加金: 5000円

申込み締切: 3月末日。  
お問い合わせ: 西福寺 (TEL 072-622-3725)

## 彼岸会寄席

桂文福一座来山



西福寺仏教婦人会3月の

例会は、彼岸会(ひがんえ)寄席です。今年も文福一座の皆さんにお越しいただきませう。

吃音(きつおん)という障害を「お前の個性や」と先代文枝師匠に励まされた恩を忘れず、若手落語家や大相撲の力士たちに温かい眼差しもって関わり続けておられます。昨年、その様子が「Eテレ」で全国放送され、大きな反響を呼びました。

当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。「佛説阿弥陀經」のお勤め後、お楽しみ下さい。

日時: 3月18日(土) 午後2時〜3時半

場所: 西福寺本堂

費用: 千円(運営協力金として)

伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日



ご家族の皆さまも一緒にどうぞ。

石川欣也先生の

法話のダイヤル 0743-53-4488

## 正信偈のつづき ⑮

◆三不三信誨慙 像末法滅同悲引  
一生造悪値弘誓 至安養界証妙果

【意訳】信と不信をねんごろに末の世かけておしえます

一生悪を造るとも弘誓に値いて救われる

道綽禪師は、「三不三信」について、「一つは信心篤からず、若存若亡するゆえに、二つに信心一つならず、いわく、決定なきがゆえに。三つには信心相続せず、いわく、余念間故なるがゆえに」と詳説された。釈尊滅後五百年を隔てて生きる凡夫を等しく哀愍された。

阿弥陀仏の誓願を疑いなく信知すれところに、たとえ一生の間、縁に触れて数々の悪行を重ねる凡夫であっても、安養なる極楽浄土に至り、速やかにこの上ない優れた悟りを開くことができる。

◆善導独明仏正意 矜哀定散与逆悪

光明名号顕因縁 開入本願大智海

【意訳】善導大師ただひとり釈迦の正意をあかしてぞ

自力の凡夫あわれみてひかりと名名の因縁説く

浄土門の祖師といわれる方は数多くいらっしゃるが、善導大師たった一人、誤りなく阿弥陀仏の正意を明らかにされた。すなわち、定善散善を行ずる自力修行の聖者も五逆の大罪をはたらく悪人も、漏れることなく哀れみ救われる。

阿弥陀仏の四十八願中、第十二願は「わがひかりきわなからん」と誓われている。これは、念仏の衆生を救うためである。この願はすでに成就しており、あまねく無碍の光で十方微塵世界を照らしつくし、衆生の煩惱悪業を長きにわたって照らし出す。(以下、次号に続く)

# 四月のご案内

〒567-0012  
 茨木市東太田二丁目九三二  
 浄土真宗 西福寺  
 本願寺派  
 TEL072-533-3750 FAX072-533-3750

春の鳥たちが、花に誘われ里へと下りてきました。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十九年四月のご案内を申し上げます。

第二百六十三回

## 人生講座

日時 四月 九日(日) 昼二時〜四時  
 講師 本願寺派布教使

塚田博 教師



■塚田(つかだ)先生、五十一歳。箕面市稲、教学寺住職。相愛大学/京都女子大学付属小学校非常勤講師。ビハール大阪相談役。生・老・病・死。苦悩する「いのち」にどう寄り添うべきか、かけがえのない「いのち」の尊さをどう伝えるべきかをテーマに各方面でご活躍されています。

■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

## ●花まつりパレード、ご協力よろしく願います。

やわらかな春の日差しがふりそそぐ中、お釈迦さまのご誕生を祝う「花まつり」に先立って、「花まつりパレード」を行います。新しい命の誕生を喜び、健やかな成長を願う心は親ばかりではありません。この地域に住むすべての人々の共通の思いです。パレードは、西福寺門徒総代・仏教婦人会役員の皆さんが先導し、子供たちが白ゾウを引きまわります。太鼓が笛・鉦・太鼓による楽を奏で、初参式受式者とその親族、住職と続きます。

コースは、西福寺から東太田児童遊園(通称ふね公園)を時計回りに周回する道路で、昼1時頃より約15分間の行程です。なお、雨天の場合は中止いたします。パレード実施中、コース周辺の皆様には大変ご迷惑おかけいたします。何卒、趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

西福寺住職

4月8日は、「花まつり」です。

「花御堂」を飾り、甘茶をかけてお釈迦さまのご誕生を祝います。あなたも、お友達をさそつて、お参りください。みんな、素直な、良い子になりますように！



■昼2時から法要(15分程度)。夜7時まで、お参りできます。

■先着50名の方には粗供養を進呈。※昼1時から花まつりパレード実施。かわいいうしろの引き手を大募集!小学生対象。昼1時まで西福寺門前に集まってください(粗糲差し上げます)。

伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日

## 正信偈のつづき ⑬

◆行者正受金剛心 慶喜一念相應後  
 与韋提等獲三忍 即証法性之常樂

【意訳】誓いの海に入りぬれば信をよるこぶ身となりて

韋提のごとく救われるやがてさとり花ひらく

大海のごとく広く深い智慧に満ちた阿弥陀仏の本願に帰順するところに堅固で揺るぎない真実の信心が備わる。一心念仏の行者は、一念慶喜の信心が定まっているので、韋提希夫人と等しく喜・悟・信の三忍を得る。喜・悟・信の三忍とは、一つは喜忍、二つは悟忍、三つは信忍である。喜忍とは、信心歡喜の得益をあらわす。悟忍とは、仏智を悟る。信忍とは、信心成就のすがたである。

韋提希夫人は、この三忍の利益を得た。これによって真実信心を具足する者は、韋提希夫人と等しく三忍を得て、ただちに法性の常樂を証する。

◆源信広開一代教 偏帰安養勸一切  
 専雑執心判浅深 報化二土正弁立

【意訳】源信和尚 弥陀に帰しおしえかずあるそのなかに

真実報土にうまるとは深き信にぞよると説く

源信和尚は、ひろく釈尊一代の教を開き、念仏を選び取り、一切の衆生に浄土往生を勧めた。雑行雑修の思いを捨て去ることができない人は、かならず化土懈慢国に生ずる。また、専修正行を唯一の往生行と思ひ定めて堅持できる人は、かならず極樂浄土に生ずる。

これは、専修二修の浅深を判じたものである。宗祖が『和讃』で「報の浄土の往生は おほからずとぞあらはせる 化土に生まるる衆生をばすくなからずとをしへたり」と仰せになったのはこのことである。

# 五月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二  
浄土真宗 本願寺派 西福寺  
TEL 0743-531175 FAX 0743-531175

銀杏の若葉が、枝という枝に青々と鈴なりに生えそろうって、やわらかな風にそよいでいます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十九年五月のご案内を申し上げます。

## 永代経 法要 厳修

日時 五月十三日(土) 昼二時・夜七時

十四日(日) 朝十時

講師 「御堂さん」編集長

菅 純和師

■永代経は、「亡き人をご縁として、ご先祖から伝えて頂いた尊い仏法を、永代にわたり」伝えていくため「仏法聴聞の殿堂としてのお寺を護持して(菅純和師著「仏事の小箱」より)」いこうと願われる方々によって営まれる法要です。

■お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

●伝燈奉告法要団体参拝ご参加、有難うございました。

新緑まぶしい京都・西本願寺では、去る4月28日「第25代専如門主 伝燈奉告法要」が厳修され、当山西福寺からも多数のご参加をいただきました。「奉賛伝燈作法」は、親鸞聖人750回大遠忌法要の際、制定された「宗祖讃仰作法音楽法要」を依用したもので、耳慣れた正信偈や念仏和讃の旋律を声高らかに勤めさせていただきました。法要後は、境内や門前を散策したのち、七条西洞院「きょうと和み館」で楽しく会食いたしました。

全行程「茨木観光」の大型観光バスで移動し、安全で快適な一日を過ごすことができました。ご参加いただいた皆さま、誠に有難うございました。

西福寺住職

### 永代経に向けて(お願い)

毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしくお願いします。

■5月12日(金)午後7時〜於西福寺本堂  
おかざり(供物をそなえつけます)



伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日

### 正信偈のくじろ ⑱

◆極重悪人唯称仏 我亦在彼摄取中  
煩惱障眼雖不見 大悲無倦常照我

【意訳】罪の人々名をよべ われもひかりのうちにあり

まどいの眼には見えねども ほとけはつねに照らします

極重の悪人は、阿弥陀仏の名を称する以外に浄土往生の手だてがない。真信心を得た人は、その身は娑婆にあれども阿弥陀仏の救いのみ光の中にいる。

煩惱にくもる眼では、阿弥陀仏を伺い見ることできないが、阿弥陀仏はそのことに何ら煩わされることなく、常に我が身を照らしてください。

◆本師源空明仏教 憐愍善悪凡夫人  
真宗教証興片州 選択本願弘悪世

【意訳】源空上人智慧すぐれ おろかなるものあわれみて

浄土真宗おこしては 本願念仏ひろめます

日本にも念仏の祖師と言われる方がたくさんおられるが、法然聖人ほど世の誰からも尊敬された方はいない。これは、並外れて仏教に精通されていたからである。阿弥陀仏の化身とも、勢至菩薩の来現とも、善導大師の再誕とも言われる。これほどの優れた方が、私たち善人も悪人も浄土の教えを勧められた。

法然聖人が日本にはじめて浄土宗を建立し、『選択集』を著され、悪世に広められた。

石川欣也先生の  
法話のダイヤル0743-53-4488

# 六月のご案内

T567-0012

茨木市東太田二丁目九一三二  
浄土真宗 西福寺  
本願寺派  
TEL074-733-755 FAX074-733-739

通りかかった家の軒先から、勢いよくツバメが飛んでいきま  
した。

皆様には如何お過ごしでしょうか。  
平成二十九年六月のご案内を申し上げます。

第二百六十四回

## 人生講座

日時 六月十一日(日) 昼二時〜四時  
講師 本願寺派布教使

### 植木 政隆 師



■植木(うえき)先生、五十五歳。高槻市古曾部町、速證寺  
住職。本願寺派研修講師。青年時代より、カメラ片手に日本  
中を歩いて回られる独特の感性と行動力をお持ちです。

■先般よりご案内しておりました島田裕可先生は、ご都合に  
よりご出講いただけなくなりました。

### ●茨木東組(いばらきひがしそ) 聖跡巡拝旅行バスツアー

この度は、伊勢志摩を訪ねます。伊勢神宮の所在地であり神道の慣習の強い地で、明治  
初年からお念仏のみ教えを伝えておられます。開教に尽力された方々のご苦労と歴史をお  
たずねします。また、伊勢ならではの食事、温泉、景色を2日間にわたってお楽しみ  
いただきます。

日 程：平成29年6月15日(木)〜6月16日(金) 1泊2日

集 合：朝8時20分(阪急茨木市駅西口バスターミナル交番前付近)

参加費：お一人様30,000円(一泊四食付き・参拝懇志含む)

申込方法：申込書に必要事項記入の上、参加費を添えて西福寺までお申し込みください。

締切日：平成29年6月5日(月)(※定員がありますので、お早めに。)

### 西福寺仏教婦人会総会



西福寺仏教婦人会は、真実を求めて生きぬ  
かれた親鸞聖人のみあとをしたい、人間に生  
まれた尊さにめざめ、深く如来の本願を聞き  
ひらき、み法の母として念仏生活にいそむ  
女性のための会です。京都・西本願寺での念  
仏奉仕団や当山報恩講など、女性ならではの  
細やかな心配りで、宗門と当山の護持発展に  
ご尽力いただいています。また、彼岸会寄席  
やコンサート、研修旅行など楽しい行事もご  
ざいます。

左記の通り、総会を開催いたします。会員  
の皆さま、ご出席のほどよろしくお願ひ申し  
上げます。

日時：6月15日(木)午前11時〜

場所：西福寺本堂

※総会終了後、引き続き懇親会。  
軽食をご用意いたします。

### 正信偈のこころ 18

◆還来生死輪転家 決以疑情為所止  
速入寂靜無為樂 必以信心為能入

【意訳】まよいの家にかえらんは疑う罪のあればなり

さどりの国にうまるるはただ信心にきわまりぬ

生死輪転の家とは六道輪廻を指す。ここに再び  
立ち返ることは、疑いの心に囚われているから  
である。寂靜無為の浄土に至ることは、信心が  
あるからである。『選択集』に「生死の家には疑  
いをもって所止とし、涅槃のみやこへは信を  
もって能入とす」と述べられている。

◆弘経大士宗師等 拯濟無辺極濁悪  
道俗時衆共同心 唯可信斯高僧説

【意訳】七高僧はあらわれみてわれらをおしえすくいます

世のまろびとよみなともにこのみさとしを信ずべし

弘経大士とは、天竺(インド)、震旦(中国)、  
日本の菩薩、祖師方のことである。これらの方々  
は、未来の濁世にまみれた劣悪なる私たち救う  
ことを願って出生された。しかれば出家者も世  
俗の者も、誰もがこの三国の高僧方の説を信じ  
るべきである。私たちが、浄土往生の真実を知  
りうるのはこれらの方々のご恩による。その恩  
徳に報謝しなければならぬ。



圓光大師

いしかわきんや 石川欣也先生の 法話のダイヤル0743-53-4488